
マーブルチョコレートと。

音無 無音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

マーブルチョコレートと。

【Zコード】

N1406V

【作者名】

音無 無音

【あらすじ】

高校に上がった俺たち。 ほぼ大体が同じ学校に通えた。 . . .

・ そう、 幼馴染のあいつもそうだ。 昔からマーブルチョコが大好きだった、 あいつ。

「はあ？お前幼馴染だア～とかほれこしたくせにこりねえの？」

「あー、悪いね、知りませんよ」

掃除中、知り合いになつたばかりの奴と喋る俺。

話題は幼馴染のソラの話だつた。

高校に入り、中学よりも校則がゆるくなつてから大好きなマーブルチョコを

休み時間中頬張るあいつだ。

「だつてさー、あんなお菓子似合ひ女子居ねえぜ？かわいいし」

語尾の“かわいい”がむかつく。
ぜんつぜんかーいくねえしー！

「んでえ、この前チョコあげたら

『え？くれるの？えへへー、ありがとひー。』

だとよおおお？んふふ

なんだよ、それえ、糞^ハテレ^ハレ^ハレ^ハじやねえか、てめえ。

少し苛立ちを覚えた。

・・・・・別にハハハの感情があるつーわけじゃ・・・・・

・

「つーか、話題ずれてるしー」

と叫んだところで

「ゴルアアア男子イイイ

先生に怒られた。

「罰として、雑巾がけだアー。」

「はあああ～。」

帰り道、またまたソラの話題。

「んでな、俺見たんだあ」

「ほつ？」

「ソラちゃんが告白されてるのを……」

「びつせ一回だろ。

「ふふふ。しかも、聞いて驚くな？？？」「三回だ

「なつ！？」

「驚くなつていつただろ」

「三回！？ あいつそんなモテたつけ！？」

やべえ、最近喋らねえし顔も合わせねえからなあ・・・・・。

「あつ」

そんなことを考へている時、聞き覚えのある声がする。案の定ソラだつた。

「ソラちゃん」

「こんにちは！」の前チヨ「ありがと～～」

愛想いいな・・・・・。

「ねえ、正弘^{まさひろ}つー今お金ないんだけど・・・・チヨ「買つて？」

「ああ、はい」

俺は言われるがままについて行つた。

ソラの要望で友人は呆氣なく断られた。

「・・・・・・・・金ねえんじゃなかつたのかよ」

「ないわけないじゃーん？・・・・・・正弘を引き離す口実だもん」

文末が聞こえなかつた。 ボソボソ言つた、おい。

「なんつったあ？」

「なんでもないーー正弘のばああか」

買い終えさつとコンビニを出でてしまつ彼女。

そーいや、今日はチョコパイの新作発売日か・・・・・。

チラツと見てみるとカツプルがいたのでお菓子コーナーに行くのを

斷念。

仲良く指なんて指しきやつて、もう。」

「んあー、おそーい」

ベンチでくつろいでたよ。。。。。

「ふいー、じゃあ正弘の家！」

「ああ、はいはい」

こいつにやかなわん。

俺の家についたのはいいものの、肝心の奴はずつと食つてやがる。

「……………」

卷之三

ひよしひよしと掘んでに口に運ぶ

そ、そ、う、い、え、ば、」、い、つ、も、命、め、女、子、を、部、屋、に、上、げ、た、こ、と、・、・、・、・、・、。

ない。

いきなり緊張してきた。やっぱ一回じねんすりてらんねえ・・・・・

「ねえ」

「……………ツ
はい！？」

「好きな人、いるの?」

「……………っば？」

いけねえ、思わず素つ頓狂な声を・・・・・。

「なんでもない」

「お、お前はどうなんだよ？いろんな人にコクられてんだろ？」

「そ、その人は 鈍感で、私のことなんて気にはめてなくて。

でも、少しだけ優しいときがあるて

「…・・・・・振り向いて、くれたらうなあ、なあんて、

「お前の」とだし、大丈夫だろ」

急は冷たい瞳はなる 傷悪いこと語りた?

！？ 泣くなよ！？ え？！

「だから、もう！あんたは

“鈍感だし、私なんて無視だし”

1

「・・・・・・・・」

え、まさか、え？ お前の好きな奴って……。

なかあ

急に顔が火が出るよう熱く、赤くなる。

えつと、俺、その「

そういうてソラは俺の家を飛び出していった。

「……………っくああ～～～～！反則だろお…………」

そう言いつつ床に目を落とす。

・・・・・ってこれ、あいつのスクバじゃね?

俺はそれを掘み次第彼女のもとへ走った。

俺の気持ちも伝えに。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1406v/>

マーブルチョコレートと。

2011年10月3日11時15分発行